

特定基地局開設料の標準的な金額について

KDDI株式会社

2020年 1月 27日

Tomorrow, Together おもしろいほうの未来へ。

KDDI *au*

5Gで目指すお客さま体験価値

5Gを軸に、通信とライフデザインの融合を推進
通信が溶け込む時代に向け、新たな体験価値を提供

5G時代に向けた
イノベーションの創出



通信とライフデザインの融合

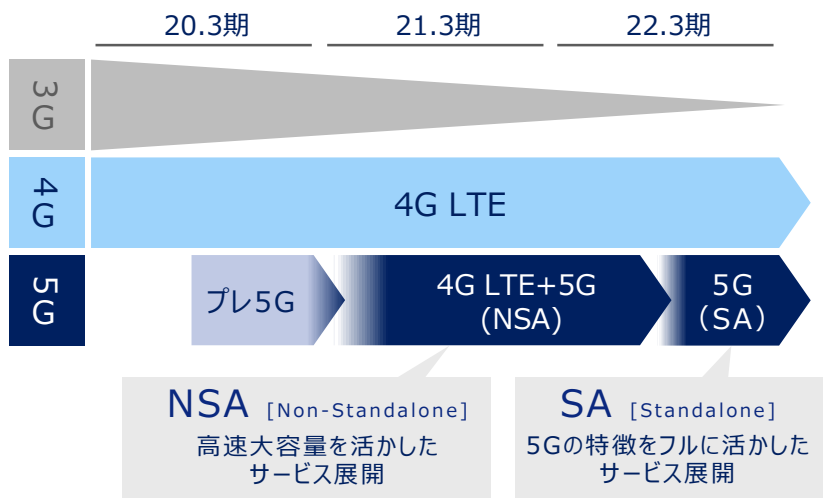


au **UNLIMITED WORLD**



効率的かつ早期に基地局を整備し、強靱なNW構築を目指す

全体ロードマップ



au 5G 基地局開設計画

2024年3月末までに国内最多の

5万局超* を構築

5万局

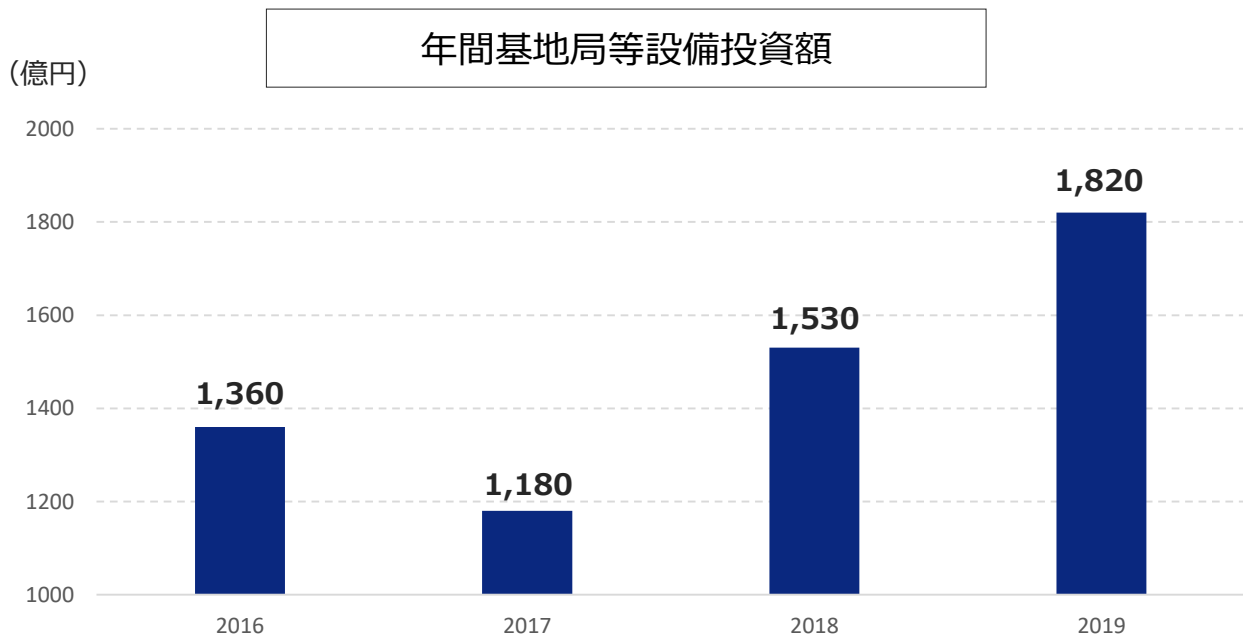
20.3期

22.3期

24.3期

* 総務省「第5世代移動通信システム (5G) の導入のための特定基地局の開設計画の認定 (概要)」による。基地局数は、屋外と屋内の特定基地局数を記載。(KDDIと沖縄セルラー電話の合計値)

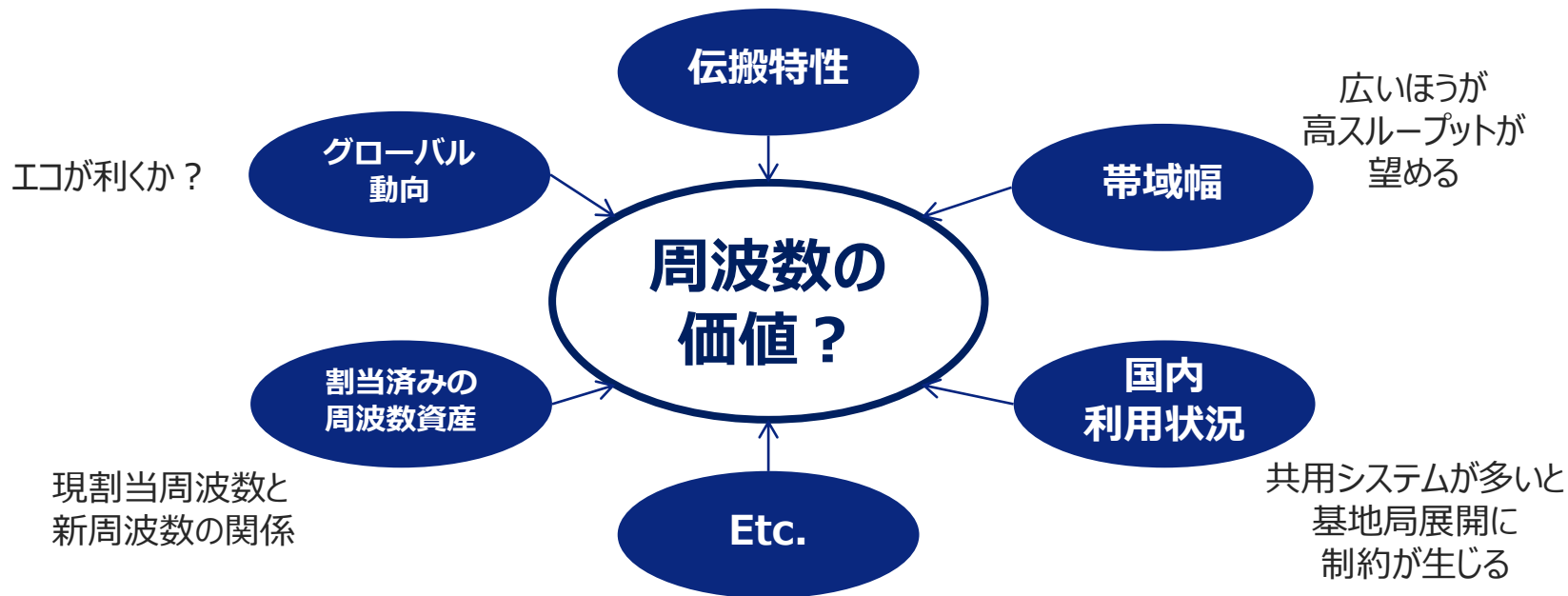
基地局整備等のため、年間1,000～2,000億円程度の 設備投資を実施



5Gにおいては2019～
2024年度の5ヶ年で約
4,667億円の設備投資
を計画

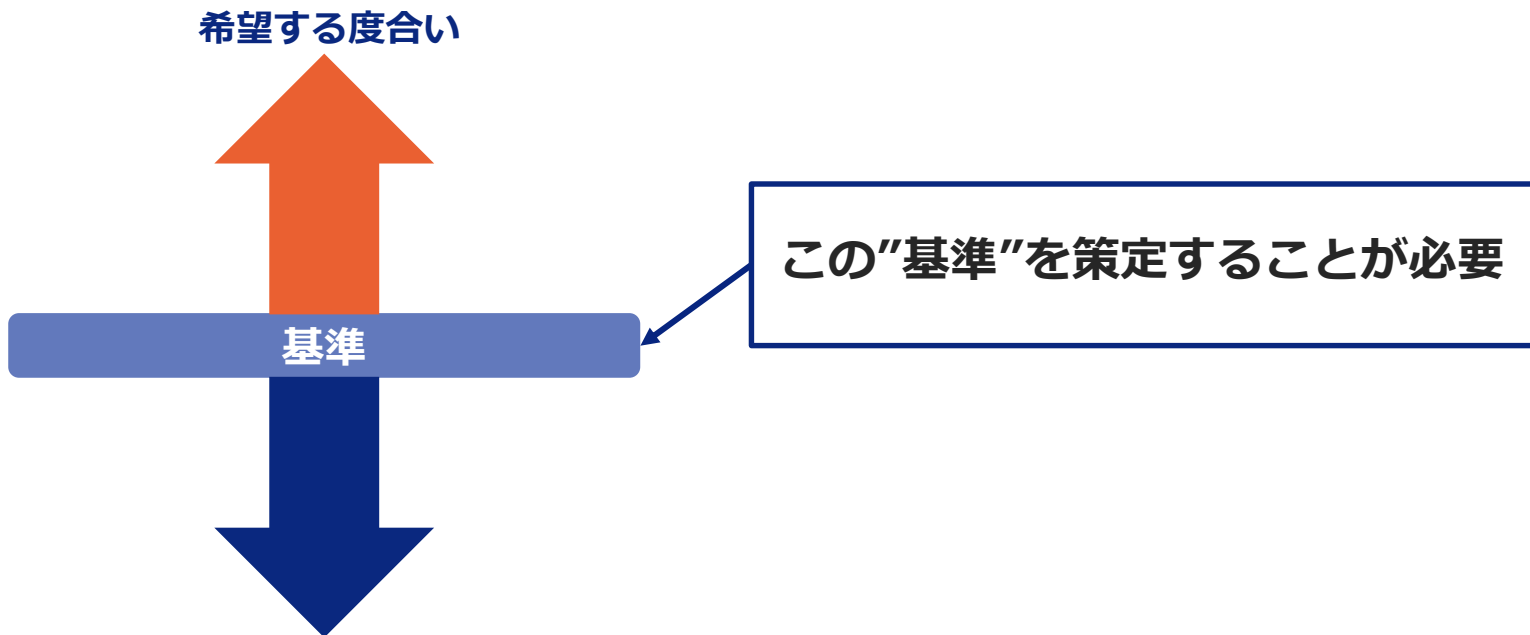
周波数の価値は様々な要素に基づき定まると推測

低いほうがよく飛ぶ



ユースケースに応じて大きく変動するものなので、算出は難しい

標準的な試算額は
「事業者が割当対象周波数帯を希望する度合いを示すための基準」
になり得るのではないか



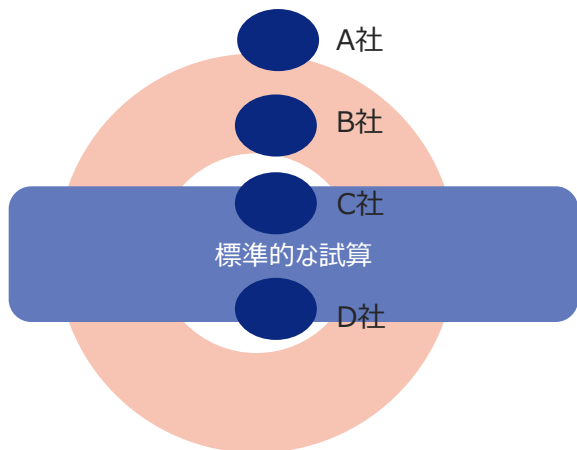
「標準的な試算」の在り方

各社の意欲を横並びで比較するためには、全事業者共通かつレンジの狭い指標が適切であり、算出には「比較法」を基本とした手法が妥当

特定基地局開設料

高

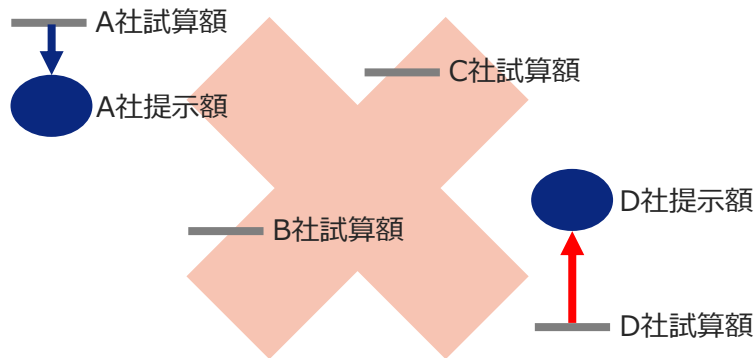
低



特定基地局開設料

高

低



注：比較法の適用においては諸外国との状況の違いを踏まえ、高騰した事例等の考慮が必要

**周波数の価値は様々な要素に基づき定まると推測
ユースケースに応じて大きく変動するものなので、算出は難しい**

**標準的な試算額は
「事業者が割当対象周波数帯を希望する度合いを示すための基準」
になり得るのではないか**

**各社の意欲を横並びで比較するためには、全事業者共通かつ
レンジの狭い指標が適切であり、算出には「比較法」を基本とした手法が妥当**

**電波という貴重な資源を用いてお客様にメリットを提供することが事業者の責務
お客様にサービスを提供する原資が削がれることがないよう、特定基地局開設料の
標準的な試算にあたり海外の高騰事例等の考慮が必要**

Tomorrow, Together

KDDI

おもしろいほうの未来へ。

au